

2.1 ベアメタルサーバー新環境移行（Windows Server）のデータ移行手順

■ 前提条件および注意事項

- 移行元に展開したミドルウェア、アプリケーション等は移行先に新規にインストールする必要があります。ミドルウェア、アプリケーション等の移行手順は、提供元のベンダーにお問合せください。
- 本手順では、データ移行にファイルストレージを利用します。
- 移行作業にかかる時間は、データの容量やネットワーク環境によって異なります。

2.1 ベアメタルサーバー新環境移行（Windows Server）のデータ移行手順

■ 移行作業内容

1. 移行先サーバーの作成
2. バックアップデータ保存用ストレージの作成
3. バックアップ作業
4. 移行先サーバーからバックアップデータ保存用ストレージへの接続
5. リストア作業
6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

1. 移行先サーバーの作成

以下リンクを参照して、移行先サーバーを作成します。

[ベアメタルサーバーの新規作成方法](#)

2. バックアップデータ保存用ストレージの作成

SDPFポータルへログインし、バックアップデータ保存用ストレージを作成します。

【ファイルストレージの場合】

[ファイルストレージの新規作成方法](#)

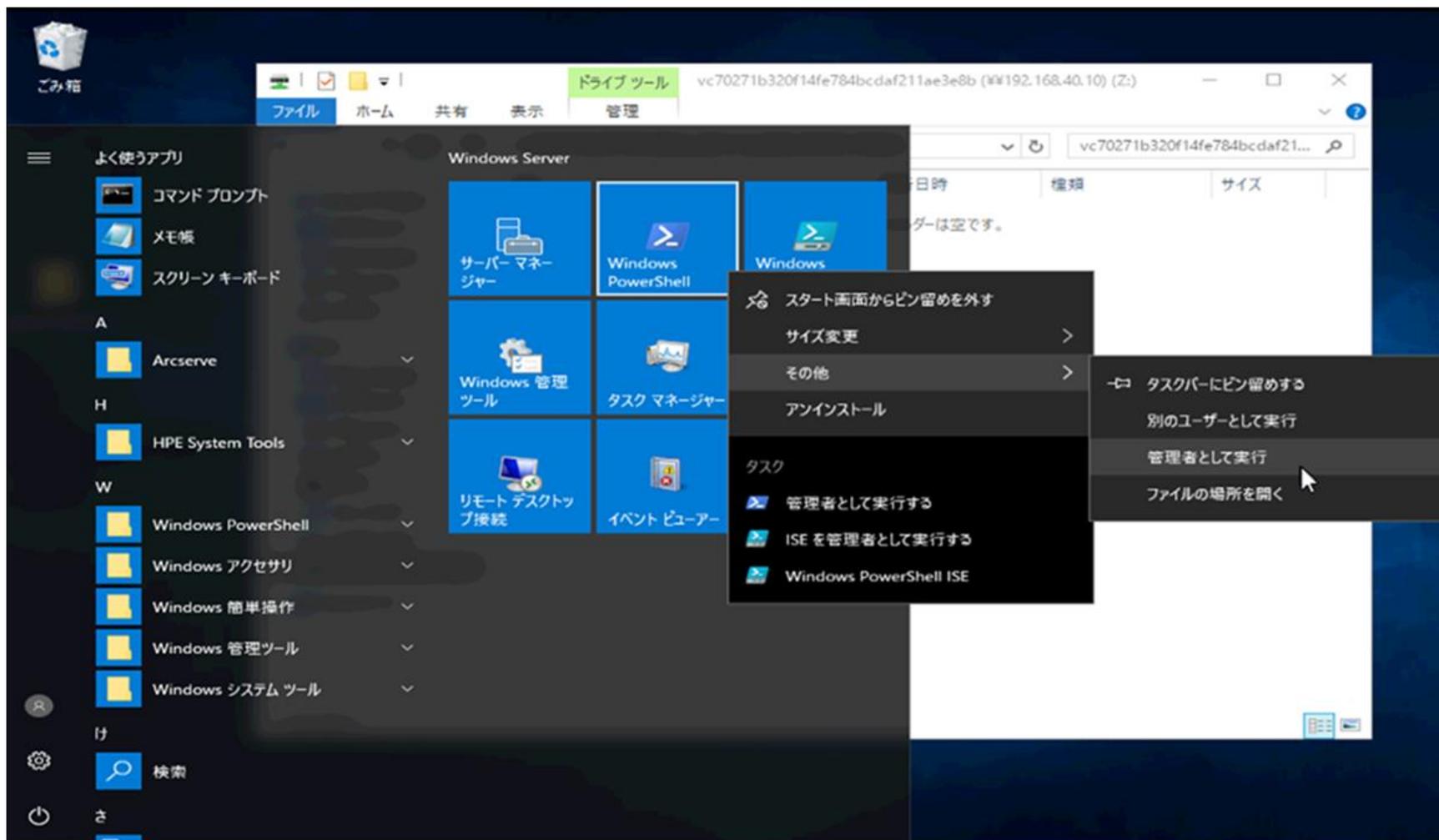
次に、移行元サーバーからストレージへ接続します。

【ファイルストレージの場合】

[ファイルストレージスタンダードのSMBボリュームへのWindows からの接続](#)

3. バックアップ作業

移行元サーバーにログインして、「検索」ボックスから「Windows PowerShell」を検索し、結果の一覧で、「Windows PowerShell」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。



3. バックアップ作業

「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示された場合、「はい」を選択します。



3. バックアップ作業

起動した「Windows PowerShell」で、以下のコマンドで、バックアップデータの作成を実行します。
robocopy 移行対象のフォルダパス バックアップデータ保存用ストレージのパス /E /COPY:DT /XJ

```

管理者: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) 2016 Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\Windows\system32> robocopy C:\Users\test\Desktop ¥¥192.168.40.10¥vc70271b320f14fe784bcdaf211ae3e8b¥Migration¥Desktop /E /COPY:DT /XJ

-----
ROBOCOPY      ::      Windows の堅牢性の高いファイル コピー
-----

開始: 2025年9月2日 19:05:20
コピー元 : C:\Users\test\Desktop¥
コピー先 : ¥¥192.168.40.10¥vc70271b320f14fe784bcdaf211ae3e8b¥Migration¥Desktop¥
ファイル: *.*
オプション: *.* /S /E /DCOPY:D /COPY:DT /XJ /R:1000000 /W:30

-----
100% 新しいディレクトリ          3      C:\Users\test\Desktop¥
100% 新しいファイル             282      desktop.ini
100% 新しいファイル             16      New Text Document.txt
100% 新しいファイル             25      test_250822.txt
-----

ディレクトリ:   合計   コピー済み   スキップ   不一致   失敗   Extras
ファイル:      3         3         0         0         0
バイト:       323        323        0         0         0
時刻:         0:00:00   0:00:00        0:00:00   0:00:00

速度:          20187 バイト/秒
速度:          1.155 MB/分
終了: 2025年9月2日 19:05:20

PS C:\Windows\system32>

```

/E
/COPY: コピーフラグ
コピーフラグ
/XJ

空のディレクトリを含むサブディレクトリをコピーします。
ファイルにコピーする情報を指定します。
D=データ、T=代替データストリームをコピーしない
ジャンクションポイントとシンボリックリンクを除外します。

3. バックアップ作業

移行元ファイルストレージボリュームの接続解除

データ移行を実施したサーバにて、移行元ファイルストレージボリュームの接続を解除します。

以下リンクのページ最下部の「ドライブとしてのマッピングを解除する場合は、This PCから接続解除するドライブを選択して 'Disconnect' を選択します。」を参照して、移行元ファイルストレージボリュームの接続を解除します。

[ファイルストレージスタンダードのSMBボリュームへのWindows からの接続](#)

4. 移行先サーバーからバックアップデータ 保存用ストレージへの接続

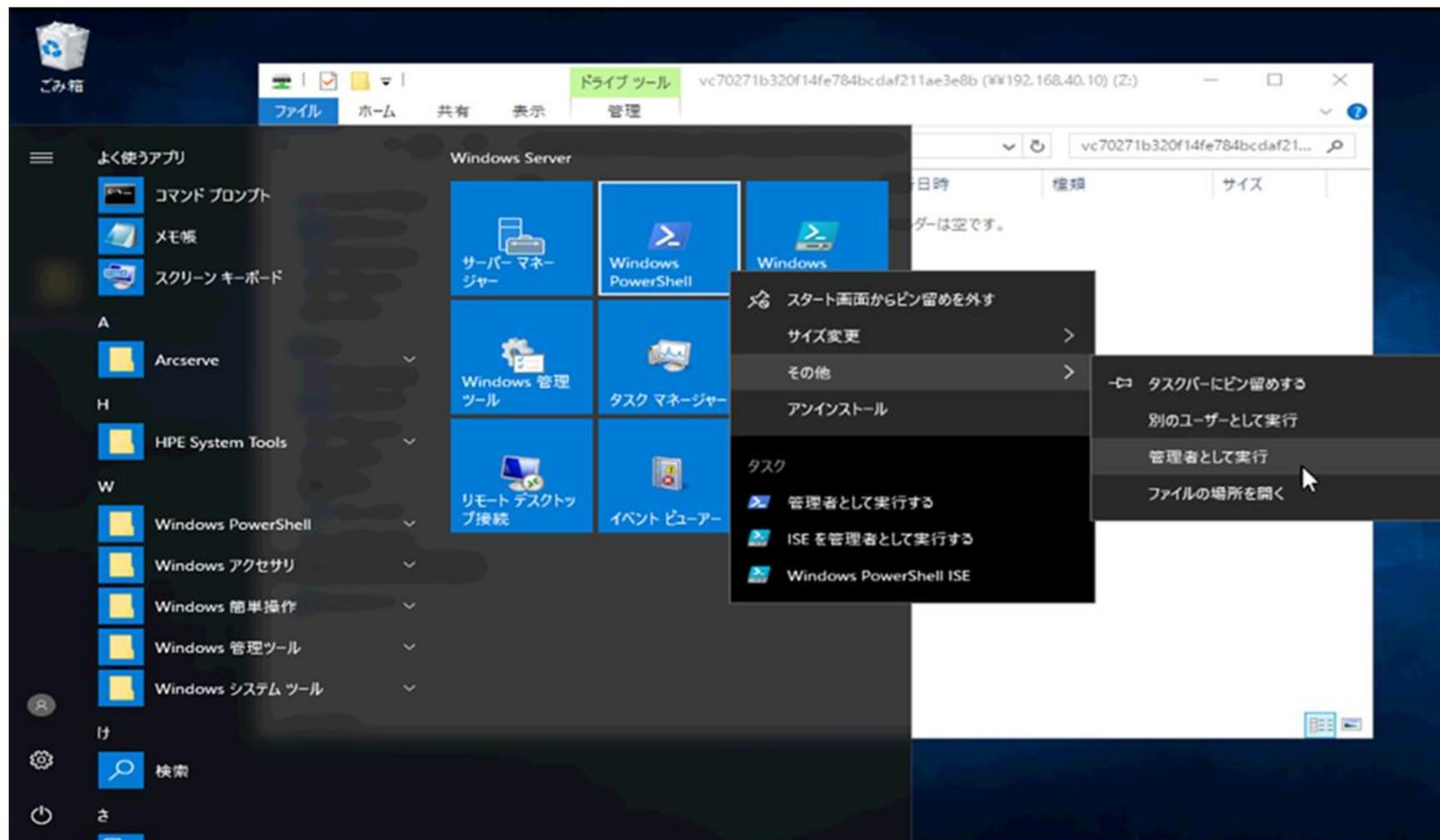
次に、移行先サーバーから、バックアップデータ保存用ストレージへ接続します。

【ファイルストレージの場合】

[ファイルストレージスタンダードのSMBボリュームへのWindows からの接続](#)

5. リストア作業

移行先サーバーで、「検索」ボックスから「Windows PowerShell」を検索し、結果の一覧で、「Windows PowerShell」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。



5. リストア作業

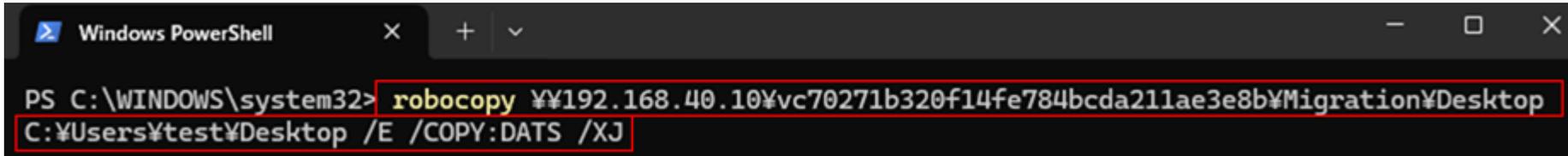
「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示された場合、「はい」を選択します。



5. リストア作業

起動した「Windows PowerShell」で、以下のコマンドで、バックアップデータのリストアを実行します。

robocopy バックアップデータ保存用ストレージのパス 移行先サーバーのフォルダパス /E /COPY:DT /XJ



```
Windows PowerShell
PS C:\WINDOWS\system32> robocopy ¥¥192.168.40.10¥vc70271b320f14fe784bcda211ae3e8b¥Migration¥Desktop
C:¥Users¥test¥Desktop /E /COPY:DATS /XJ
```

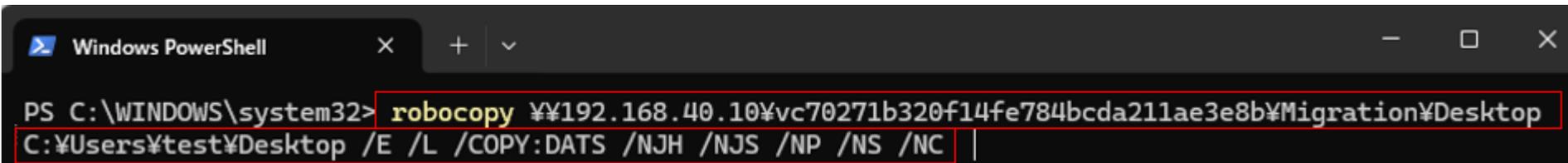
/E	空のディレクトリを含むサブディレクトリをコピーします。
/COPY:コピーフラグ	ファイルにコピーする情報を指定します。
	D=データ
	A=属性
	T=代替データストリームをコピーしない
	S=セキュリティ情報=アクセス権情報
/XJ	ジャンクションポイントとシンボリックリンクを除外します。

5. リストア作業

以下のコマンドで、データが正しくコピーされたかを確認します。

※コマンド実行後、ファイル名が何も表示されなければ、データとアクセス権が完全に一致となります。

Robocopy バックアップデータ保存用ストレージ 移行先サーバー /E /L /COPY:DATS /NJH /NJS /NS /NC

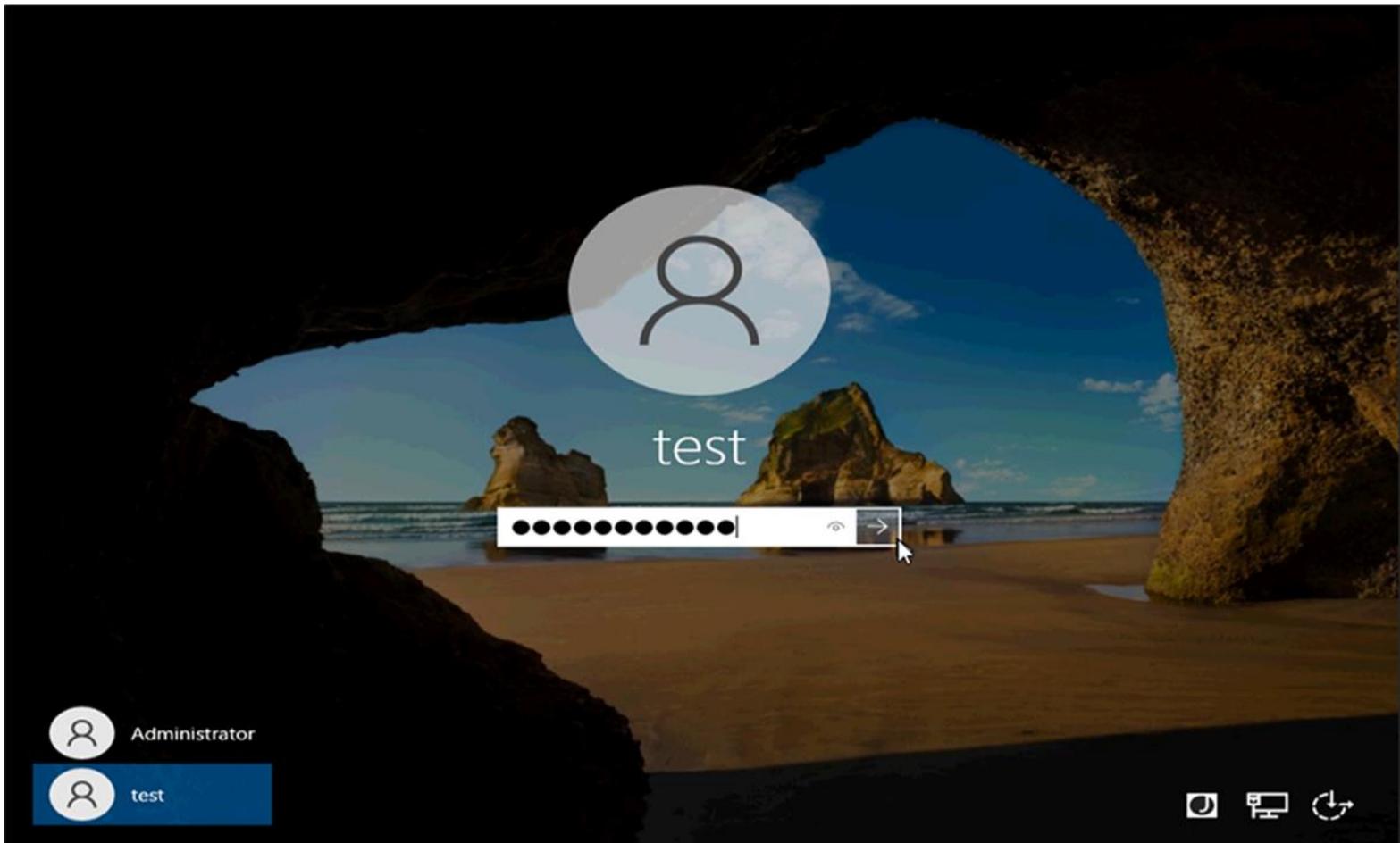


```
Windows PowerShell
PS C:\WINDOWS\system32> robocopy ¥¥192.168.40.10¥vc70271b320f14fe784bcda211ae3e8b¥Migration¥Desktop
C:¥Users¥test¥Desktop /E /L /COPY:DATS /NJH /NJS /NP /NS /NC
```

/E	空のディレクトリを含むサブディレクトリをコピーします。
/L	処理内容の表示のみを行いコピー先フォルダに変更を加えません。 コピー、削除、タイムスタンプの追加などを行いません。
/COPY:コピーフラグ	ファイルにコピーする情報を指定します。 D=データ A=属性 T=代替データストリームをコピーしない S=セキュリティ情報=アクセス権情報
/NJH	ジョブヘッダーを表示しません。
/NJS	ジョブサマリを表示しません。
/NP	コピー操作の進行を表示しません。
/NS	ファイルサイズをログに表示しません。
/NC	ファイルクラスをログに表示しません。

5. リストア作業

移行先サーバーに、バックアップデータの対象ユーザーでログインします。

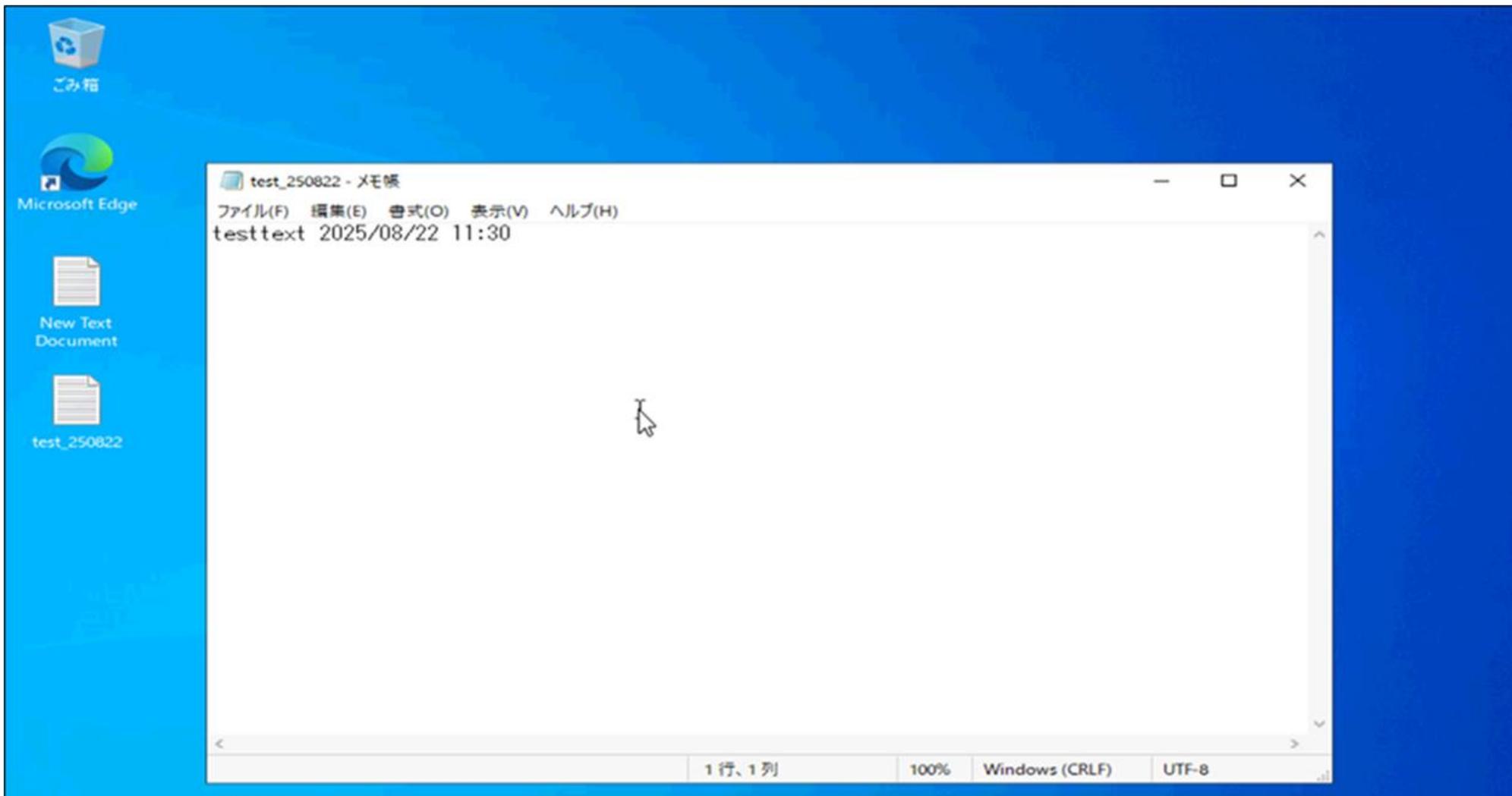


5. リストア作業

つながる。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

ファイルが正しく移行されており、問題なく開いたり保存したりできることを確認して、すべての移行作業は完了です。



6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

新環境へのデータ移行が完了し、アプリケーションが問題なく稼働することをご確認いただけましたら、バックアップデータ保存用ボリュームと移行元サーバを削除していきます。

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

【ファイルストレージの削除】

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

つながり。驚きを。幸せを。



移行元サーバにログインし、以下リンクのページ最下部の「ドライブとしてのマッピングを解除する場合は、This PCから接続解除するドライブを選択して 'Disconnect' を選択します。」を参照して、バックアップデータ保存用ストレージのマッピングを解除します。

[ファイルストレージスタンダードのSMBボリュームへのWindows からの接続](#)

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

SDPFポータルへログインし、メニューで、「ストレージ」→「ファイルストレージ」→「スタンダード」をクリックし、「仮想ストレージ」画面を開きます。

The screenshot shows the '仮想ストレージ' (Virtual Storage) management interface. The left sidebar contains a navigation menu with 'スタンダード' (Standard) highlighted. The main content area displays a table of storage configurations.

名前	説明	ボリューム種別	作成日時	関連ボリューム	ステータス	アクション
	-	standard_nfs_na	2025-04-28 07:53:10		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_smb_na	2025-05-21 05:21:51		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_nfs_na	2025-09-02 07:21:46	:	利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_smb_na	2024-11-05 01:40:50		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_smb_na	2025-07-28 04:58:15		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_nfs_na	2025-08-22 00:16:23		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_smb_na	2025-09-02 00:37:30		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_nfs_na	2022-11-11 07:53:01		利用可能	仮想ストレージの編集

8件表示

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

「仮想ストレージ」画面で、バックアップデータ保存用ストレージをクリックします。

The screenshot displays the '仮想ストレージ' (Virtual Storage) management page. The left sidebar contains a navigation menu with categories like 'テナント情報', '仮想サーバー', '物理サーバー', 'ハイパーバイザー', 'ストレージ', 'ブロックストレージ', 'IO性能確保', 'ファイルストレージ', 'スタンダード', 'クラウド/サーバー ローカルネットワーク', '相互接続/関連サービス', and 'クラウド/サーバー ネットワークセキュリティ'. The main content area shows a table of storage resources. The '対象ストレージ' (Target Storage) entry is highlighted with a red box. The table has columns for '名前' (Name), '説明' (Description), 'ボリューム種別' (Volume Type), '作成日時' (Creation Time), '関連ボリューム' (Associated Volume), 'ステータス' (Status), and 'アクション' (Action). The '対象ストレージ' entry has a name '対象ストレージ', description '-', volume type 'standard_nfs_na', creation time '2025-09-02 07:21:46', status '利用可能' (Available), and an action button '仮想ストレージの編集' (Edit Virtual Storage).

名前	説明	ボリューム種別	作成日時	関連ボリューム	ステータス	アクション
	-	standard_nfs_na	2025-04-28 07:53:10		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_smb_na	2025-05-21 05:21:51		利用可能	仮想ストレージの編集
対象ストレージ	-	standard_nfs_na	2025-09-02 07:21:46		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_smb_na	2024-11-05 01:40:50		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_smb_na	2025-07-28 04:58:15		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_nfs_na	2025-08-22 00:16:23		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_smb_na	2025-09-02 00:37:30		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_nfs_na	2022-11-11 07:53:01		利用可能	仮想ストレージの編集

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

「仮想ストレージの詳細」画面が開くので、「ボリュームの編集」の右の「▼」を押し、「ボリュームの削除」を押下します。



仮想ストレージの詳細:

仮想ストレージの編集 ▼

+ボリュームの作成

名前	説明	ゾーン/グループ	作成日時	サイズ	ステータス	アクション
対象ボリューム	-	zone1-group	2025-09-02 07:23:09	10240B	利用可能	ボリュームの編集 ▼ ボリュームの削除

1件表示

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

「ボリュームの削除の確認」画面が表示するので、「ボリュームの削除」を押下します。

ボリュームの削除の確認



を選択しました。選択内容を確認してください。この操作は取り消せません。

取り消し

ボリュームの削除

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

「仮想ストレージの詳細」画面に戻りますので、バックアップデータ保存用ストレージのボリュームが削除されたことを確認します。



仮想ストレージの詳細:

概要 ボリューム

仮想ストレージの編集

+ボリュームの作成

名前	説明	ゾーン/グループ	作成日時	サイズ	ステータス	アクション
表示する項目がありません						

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

画面左のメニュー欄で、「ストレージ」→「ファイルストレージ」→「スタンダード」をクリックします。



仮想ストレージの詳細:

仮想ストレージの編集

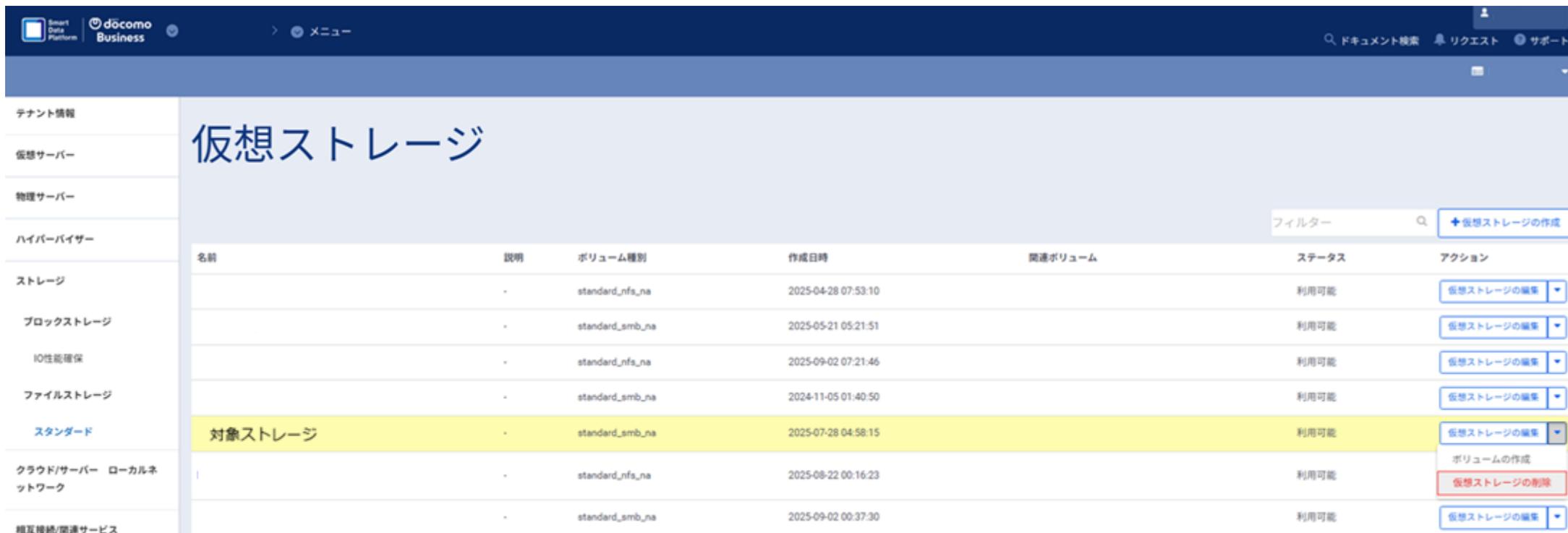
概要 ボリューム

+ボリュームの作成

名前	説明	ゾーン/グループ	作成日時	サイズ	ステータス	アクション
表示する項目がありません						

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

「仮想ストレージ」の画面が開くので、バックアップデータ保存用ストレージの右の「▼」を押し、「仮想ストレージの削除」を押下します。



仮想ストレージ

フィルター [+仮想ストレージの作成](#)

名前	説明	ボリューム種別	作成日時	関連ボリューム	ステータス	アクション
	-	standard_nfs_na	2025-04-28 07:53:10		利用可能	仮想ストレージの編集 ▼
ブロックストレージ	-	standard_smb_na	2025-05-21 05:21:51		利用可能	仮想ストレージの編集 ▼
IO性能確保	-	standard_nfs_na	2025-09-02 07:21:46		利用可能	仮想ストレージの編集 ▼
ファイルストレージ	-	standard_smb_na	2024-11-05 01:40:50		利用可能	仮想ストレージの編集 ▼
スタンダード	対象ストレージ	standard_smb_na	2025-07-28 04:58:15		利用可能	仮想ストレージの編集 ▼ ボリュームの作成 仮想ストレージの削除
クラウド/サーバ ネットワーク	-	standard_nfs_na	2025-08-22 00:16:23		利用可能	仮想ストレージの編集 ▼
相互接続/関連サービス	-	standard_smb_na	2025-09-02 00:37:30		利用可能	仮想ストレージの編集 ▼

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

「仮想ストレージの削除の確認」の画面が表示されるので、「仮想ストレージの削除」を押下します。



6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

「仮想ストレージ」の画面に戻るので、バックアップデータ保存用ストレージの「仮想ストレージ」が削除されたことを確認します。



仮想ストレージ

名前	説明	ボリューム種別	作成日時	関連ボリューム	ステータス	アクション
	-	standard_nfs_na	2025-04-28 07:53:10		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_amb_na	2025-05-21 05:21:51		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_nfs_na	2025-09-02 07:21:46		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_amb_na	2024-11-05 01:40:50		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_nfs_na	2025-08-22 00:16:23		利用可能	仮想ストレージの編集
	-	standard_amb_na	2025-09-02 00:37:30		利用可能	仮想ストレージの編集

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

【移行元サーバの削除】

6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除

全てのバックアップデータが移行先サーバに移行され、移行先での稼働に問題ないことを確認した上で、移行元サーバを削除します。削除方法は以下を参照ください。

[ベアメタルサーバの削除方法](#)

2.1 ベアメタルサーバー新環境移行（Windows Server）のデータ移行手順

- APIを利用した移行作業内容および詳細
 - APIを利用した手順について、現時点での準備はございません。

2.1 ベアメタルサーバー新環境移行（Windows Server）のデータ移行手順

■ 切り戻し方法

- 「手順6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除」前であれば、移行元環境が残っているため切り戻しが可能です。
- 「手順6. バックアップデータ保存用ストレージ・移行元サーバの削除」後の切り戻しはできません。

必要に応じて、以下ユースケースを参考にバックアップの取得をご検討ください。

[5. ベアメタルサーバーのバックアップ&リストア概要および手順 Windows Server2019編\(v4フレーバー\)](#)

[6. ベアメタルサーバーのバックアップ&リストア概要および手順 Windows Server2022編](#)

2.1 ベアメタルサーバー新環境移行（Windows Server）のデータ移行手順

■ 手順通り進まない場合の対処方法

- エラー等が発生した場合や手順に関する不明点がございましたら、チケットシステムよりチケット起票いただきお問い合わせください。

※チケット起票手順につきましては、「[SDPFクラウド/サーバー関連チケット起票方法](#)」をご参照ください。
お問い合わせ内容によって下記区分をご選択ください。

Incident Submission	:	故障・不具合に関するお問い合わせ
General Inquiry	:	設備更改のガイドラインおよび手順書に関するお問い合わせ